

お知らせ

投稿歓迎 (400 字まで)

**6 月 19 日
2021 年**

「憲法九条の会・生駒」

〒630-0222 奈良県生駒市老分町 953-3 池田順作方
<http://ikoma9jo.hatenablog.com>

お知らせ発行責任者 池田順作 Tel,Fax 0743-76-8788

菅政権、疑惑にすべて頼かむ (政治とカネ、違法接待、行政私物化 etc)

- 安倍前首相の「桜を見る会」・前首相の公選法違反、政治資金規正法違反。昨年末より菅氏沈黙。
- 菅原一秀の選挙買収事件・・・選挙区内の 33 団体と 26 人に祝儀・香典など 53 万円寄付。東京地検特捜部が略式起訴した。菅原氏は政界では有名な菅首相の側近だが、首相は何も触れず。
- 河井案里・克行夫妻の大規模参院選買収事件で逮捕・起訴。買収の原資とされる自民党本部からの 1 億 5 千万円について、首相は何も触れず。
- 吉川・西川両元農水相・・・大手鶏卵会社から現金 500 万円供与。農政が歪められた疑惑について全く説明なし。
- 秋元司のカジノ汚職・・・統合型リゾート事業をめぐる収賄罪、組織犯罪処罰法違反で起訴。未だに議員辞職せず、国会での説明なし。
- 総務省・農水省・文科省の違法接待疑惑・・・幹部官僚たちが利害関係ある業界から接待を受け、行政が歪められた疑惑、全容は未解明。

上記の総務省では、首相の長男が勤める東北新社 (衛星放送など作成する会社、放送の許認可権は総務省) が総務省幹部 32 人に 78 件の接待づけ。この具体的な真相はヤミの中だが、首相の長男への聞き取り調査が全く行われないのは首相の身内だからか？

こういう数々の疑惑の根本には、安倍前政権から続く政治の腐敗がある。前首相は、「森友・加計学園」や「桜を見る会」問題で、国政をあからさまに私物化、明白な違法を追及されてもウソとゴマカシでその場を逃げるのみ、拳句の果ては触ってはならない公文書を改ざん (安倍夫妻の名を隠す) し、改ざんを命令された財務省職員の自殺まで招いた。それでも安倍・菅両氏は平然としている。

憲法改定のための、国民投票法改正案が可決・成立。 憲法改悪阻止は正念場に！

参院憲法審査会は 9 日、憲法改定のための国民投票法改正案を与党の賛成多数で可決しました。2018 年の提出から 3 年を経て、11 日の参院本会議でも可決、成立しました。改正案は公職選挙法に合わせ、駅や大型商業施設への共通投票所設置、海上投票所設置も可能にすることが柱。付則に施行後 3 年をめどに CM 規制などを検討することを明記しています。憲法審査会の今後の焦点は、憲法条文のどこをどう変えるか、まさに本丸討議です。(裏へ)

◎みなさんの、「憲法九条の会・生駒」への賛同募金をお願いします。

「郵便振替口座 00930-9-278631 憲法九条の会・生駒」へお願いします。

・・・・・・・・・・これからの予定・・・・・・・・・・

7 月 9 日 (金) 憲法守れ生駒駅宣伝 (11 時から 45 分間)

7 月 19 日 (月・祝) 憲法守れ生駒駅宣伝 (11 時から 45 分間) あと 1 時から「9 条の会」運営委員会

第 200 回「憲法九条の会・生駒」運営委員会

2021 年 7 月 19 日 (月・祝) 午後 1 時～2 時半 セイセイビル 201

当会は運営委員を決めていません。当日参加された会員 (1 日運営委員) で構成しています。

お時間が許せばご参加賜りたく、ご案内申し上げます。

(連載) 憲法九条の会・鹿ノ台校区～あゆみの点描(N0.2)～展開～

「校区平和のつどいを柱にして」～音楽とのコラボ～

鹿ノ台校区では、毎年夏場に「平和のつどい」を企画し、開催してきました。そのイベントを中心に毎月のニュースの発行、訪問対話とふれあいを9条の会会員とともに進めてきました。

何より、「つどい」のプログラムには必ず音楽を取り入れ、平和と9条を守る時々の課題の話とコラボし企画してきました。平和であってこそ芸術文化が花開く共存の関係を知ってほしいことと、多くの人に参加しやすく「楽しく、あたたかく、考えあえる」集会でありたいとの思いからです。



「コール・メープル」

- ・手作りであたたかい集会。すばらしい演奏に大満足。初参加だけど、また参加したい。
- ・一段高い所から平和の大切さを訴えられるのではなく、ひとりひとり感じあい、考えあう目線の集会でよかった。コーラス、心に残る歌の数々、ありがとう。

毎回寄せられるアンケートの視点です。多くの演奏家にご協力いただきました。

ヴァイオリン奏者	斎藤 清さん	オペラ歌手	内海 緑さん
クラシックギター	増井 一友さん	マリンバ奏者	中田 麦さん
サクソ奏者	小部 修さん	沖縄民謡	なんくる三線倶楽部

レベル高い演奏が感動を与え、地域文化の向上にも貢献しています。

特筆すべきは、毎回すばらしいコーラスを披露していただいている、全国歌ごえ祭典で銅賞を受けた女性コーラス「コール・メープル」(写真)の存在です。「つどい」にふさわしい、平和と生命の大切さを考えさせられる歌声は大好評。一年間の練習の成果を楽しみにしている人も多いのです。指揮者の内海さん、団員みなさんに感謝です。

いまコロナ禍で芸術は必要不可欠であるだけでなく、生命維持にも必要と、改めて心の潤いの大切さを感じますが、「平和のつどい」が16回も続けられた原点は、平和と音楽のコラボにあるのかもしれません。

(表より) 憲法改悪へつき進む、今後の憲法審査会の策動を阻止しよう！

国民投票法は、大量資金投入によるTVコマーシャル支配の規制など、与野党で議論になった問題はすべて棚上げにされたままで、施行後3年以内に結論を出すという。また、憲法条文のどこをどう改定するか、というまさに改憲の本丸の審議がこれからの衆参憲法審査会のテーマとなる。改定案がまとまれば、衆参本会議で3分の2以上の賛成で可決される。可決されれば、国民投票にかけられ、過半数で成立する。いよいよ情勢は重大です。